

環境協定締結事業所におけるこの1年間の取組みの成果

事業所名	福井県民生活協同組合
代表者	理事長 竹生 正人
所在地	福井市開発5丁目1603番地
協定期間	令和元年11月1日～令和2年10月31日 (初回締結日 平成19年11月1日)

1 取組み内容と成果

- (1) 「温室効果ガス削減計画2030」を策定し、2030年までに、省エネと創エネ、再エネの活用によって、CO₂を40%削減する方針を掲げました。
 - ・2013年度(基準年)実績9,491t、2030年度目標5,695t
 - ・計画開始年度:2021年度
- (2) 福井県内において、新エネルギー財団の補助金も活用しながら、測量や地質調査、基本設計の策定など、小水力発電の調査研究と事業性評価の検討を進めました。(具体的な場所や規模は、2021年6月の理事会で最終判断後に公開)
- (3) 店舗ハーツの古紙や廃食油の回収拠点「リサイクルステーション」では、古紙1,293t、廃食油16tを回収し、地域の資源循環の拠点の役割を果たしました。また、紙・プラスチックのリサイクルの拠点「エコセンター」では、注文書1,670t、段ボール665t、新聞紙129t、プラ類91tなど、古紙と廃プラスチックの資源リサイクルの拠点として役割を果たしました。
- (4) SDGsの理解促進のために、SDGsゲームを、環境ふくい推進協議会の企画含め、年12回開催しました。また、エシカル消費については、6月と10月をエシカル月間と定め、生協の商品を通してエシカル消費の対象商品の普及を進めました。消費者団体などから要請を受けて、出前学習会の対応も行いました。
- (5) 情報誌「がんばらにゃ」で、毎月裏表紙に「LOVE・アース・ふくい2030」のロゴを掲載し、県民への普及啓発を行いました。

(6) 食品廃棄物の削減のため、フードバンクの取り組みを年3回、フードドライブの取り組みを年2回実施し、食料を必要とされている施設などに提供を行いました。

2 活動の取組み事例



SDGsゲームの様子



店舗でのエシカル消費商品の普及



LOVE・アース・ふくい2030
「夏のeco ミッションキャンペーン」
の啓発



フードドライブの実施